

(様式 2)

受付

6.2.16

議会事務局
総務課

令和 6 年 2 月 16 日

京丹後市議会議長 様

会 派 名 新政会
代表者氏名 櫻井 祐策



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

1 日程

令和 6 年 1 月 23 日 (火)

2 場所

衆議院第一議員会館 多目的ホール

3 目的

山陰近畿自動車道整備促進決起大会

4 該当する政務活動費の使途項目

要請・陳情費

5 支出経費の内訳と金額

69, 480 円

6 参加議員名

櫻井祐策 多賀野一彦

7 活動成果の概要、所見

決起大会も大事な要望活動であるが、何のために道路整備を行うのか、本質的な部分をしっかりと我々も抑えなければならなかったと感じた。所謂道路網が整備されることによる効果や優位性について地方議員をはじめとする地元地域がどのように活かしていくかという視点が重要である。現状認識としては、京都府北部地域を始め、山陰地方は日本海国土軸を形成し高規格幹線道路に匹敵する重要な道路であるにもかかわらず、全国の中でもミッシングリンクといわれる「空白地帯」が本市を中心に存在し、他県よりも遅れているのが現状である。

まず、自然災害の観点からは、例えば今年 1 月 1 日に能登半島で起こった大

地震のような自然災害が起こった場合でも北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道、山陰自動車道と連結し、防災ネットワークの構築など、多面的な要素があることから、防災・減災に寄与する重要な幹線道路である。

次に、地域医療の視点からである。地域医療の大きな課題は医師の偏在である。本市や山陰海岸地域は重要な医療の拠点はあるものの、拠点を結ぶネットワーク網が不十分である。高齢化が著しい地方こそ、医療の拠点整備に加え道路網が命のネットワーク網となるため、いち早く進めていく事が3府県の共通した課題の一つである。地域住民の安心安全を確保するため高速道路網の整備は命の道としても重要である。医療・災害と地域住民を守る一つの手段として地域住民の命を守るという住民保護の視点でも引き続き道路整備は強く求めていかなければならない。これからの視点は一日でも早く課題解決に向けて取り組むべきである。

そして、今回の要望で重要な視点として捉えているのが、時期的な明記を要望書で示している件についてである。道路網整備に伴い効果が予測されるのはストック効果である。企業進出によって地元事業者等も観光振興等によって地域活動化の効果が期待できる。例えば、京都府南部には大型施設や大型物流の拠点施設が整備され、南部中心に人口増加が起こっている。また、北部には舞鶴港の港湾整備によって海上物流の拠点と期待がある。これに加え、北陸新幹線のルート調査に関しても期待がある。こういった流れを受けて、山陰近畿自動車道早期整備が促進されれば、北部を拠点とした更なるストック効果が期待でき、年限を示したことによる企業による計画的な投資の誘発にもつながりやすくなることから、産業の発展、地域の経済効果に寄与することにつながると考える。

こうした動きを通じて、ヒト・モノ・カネの流動的に資産が動くことで、地域のより良い発展に期待できる。そのためには、高速道路を求める地元企業、行政、市民が一丸となって山陰近畿自動車道の延伸の声を国政へ届けていかなければならないと強く思う次第である。